

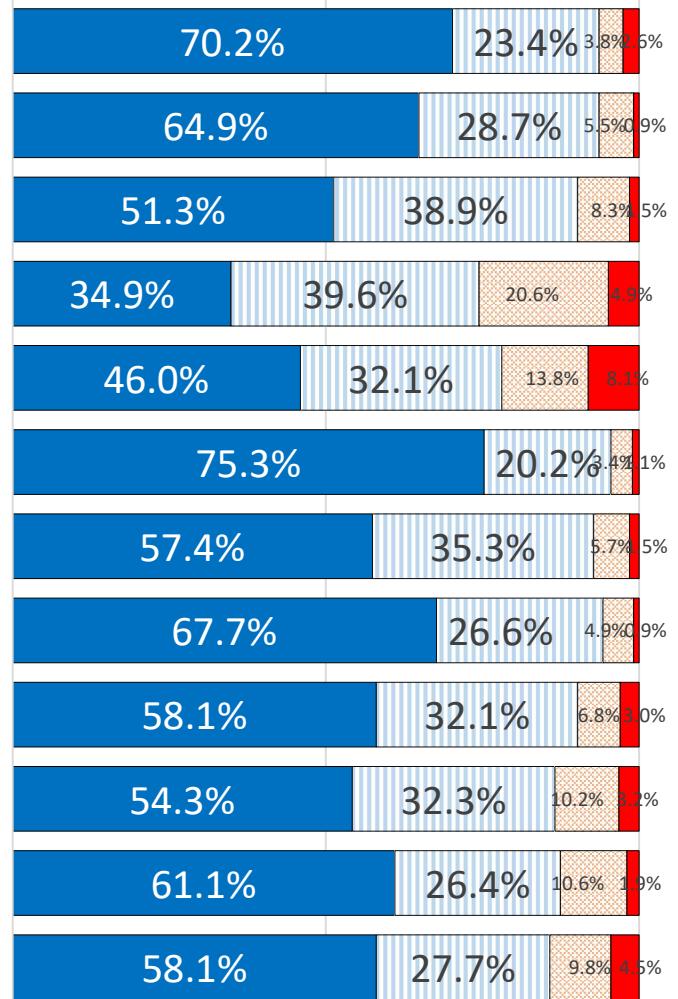
令和7年度2学期 児童学校評価

★AP(アクションプラン)達成 80%以上

◎…アナイが 95%以上 ○…90%以上

0% 50% 100%

- 1 学校へ行くのが楽しい。
- 2 授業で勉強していることが分かる。
- 3 授業中、先生や友達の話を自分の考えとつなげて聞いている。 ★ AP1
- 4 授業中、自分の考えと友達の考えをつないで発表している。 AP1
- 5 家で、決められた時間、学習をしている。
(下学年 30 分間以上、上學年 10 分間 × 学年以上)
- 6 先生や友達、パトロール隊の人に、自分からあいさつをしている。
- 7 相手の気持ちを考え、みんなのためにできることをしている。 ★ AP2
- 8 友達に優しくし、誰とでも仲よくしている。
- 9 廊下を歩くなど、安全に気を付けて過ごしている。
- 10 早寝早起きなど、健康に気を付けて生活している。 ★ AP3
- 11 目当てをもって運動し、体力の向上に努めている。 ★ AP3
- 12 家の人と相談したメディアやゲームの使い方を守っている。 ★ AP3



■ ア よく当たる ■ イ やや当たる ■ ウ あまり当たらない ■ エ まったくあてはまらない

<考察>※ () は2学期の結果、<>は1学期比

達成率（アナイ）が90%を超えている項目が7項目あり、子供は学校が楽しく、授業においては、先生や友達の話を自分の考えと比べながら聞き、内容も理解できると感じているようです。また、自分から挨拶をし、安全に気を付けて過ごそうとする意識や、相手の立場を考え行動しようとする気持ちが育ってきていることが伺えます。

アクションプラン(AP)に関しては、**7 「みんなのためにできることをしている」**(92.7%) <+0.7%> は、児童会を中心とした挨拶運動や「ひとみな名人」(※ひとみな活動=一人一人がみんなのためにできることを考えて行う活動)の認定、学級で互いのよさを見つけ合うグループ活動など、工夫した取組の成果だと考えます。

3 「自分の考えとつないで聞いている」(90.2%) <-5.1%> の一方で、自分の考えを伝えることにはまだ成長の余地があると考えます。そのため、学校では、子供の学びを確かなものにするための授業の見直し、改善に努めてまいります。また、基本的な生活習慣、体力の向上、アウトメディアについては、今後も家庭と連携を図りながら進めていきたいと思います。